



2021-2022
国際ロータリーのテーマ

高萩ロータリークラブ

TAKAHAGI
ROTARY CLUB
WEEKLY

国際ロータリー第2820地区
1970年10月30日設

発行
2022.3.30
第52巻
第32号
通巻
2452号

ロータリー月間 水と衛生 来月: 母子の健康 特別 月間

3月23日 例会より

『水と衛生—353年目の十石堀用水』

人びとは地域の水と共に生きて 生活する

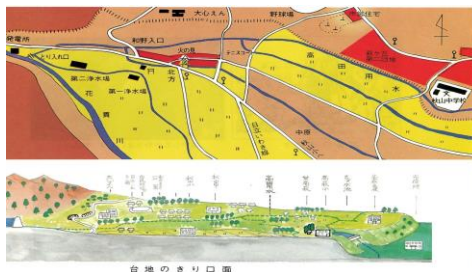
水と衛生、特別月間に因んで

卓話 小森勇一 幹事

地球上のどこでも、人びとはその地域の川や湖沼、オアシスの水を飲み、作物を育て、生活している。

「水と衛生」の特別月間は、その水を提供する奉仕活動の強調月間である。本日の例会は、その大本である地域の水についての研修である。

水と衛生—353年目の十石堀



高田用水（上の図は高萩市内の用水）

はじめに提示されたテーマスライドは、高萩の花貫川で取水し、台高萩を流下し玉川を経て関根川流域に流れる、また高萩中央公民館を経て安良川に至る、高田用水図である。

500年以前に開鑿されたとみられる用水で記録史料が残されていない。本日紹介されたのは、この高田用水ではなく、北茨城市の、中郷町松井地区の十石堀用水についてである。



上の橋は、常磐道の高萩ICから北茨城に向かう高速道路に架かる橋。人や車が通る橋ではなく、狭い用水のための橋で、「十石堀水路橋」である。

水戸藩主徳川光圀の地域振興策

ここを流れる農業用水は、江戸時代の寛文9年1669年（今から353年前）に作られた用水である。

寛文元年は水戸藩2代徳川光圀が藩主に就任したばかりで、村々興隆のときであったが、松岡郡奉行岡見弥次衛門の許可を得て、松井村庄屋沼田主計（ぬまたかずえ）を中心に村人によって開鑿された。

受益の村は、松井村、日棚村、栗野村、櫻井村など7か村の水田であった。

新任の青年水戸藩主 徳川光圀にとっては、ベストな地域振興政策であったと言えるだろう。

月 日	プログラム	担 当	3月23日 出席報告		
3月30日	卓話	プログラム委員会	会員数	出席者	欠席者
4月6日	会員満足度アンケート	次年度会長・幹事	29	7	18
4月13日	卓話 高萩JC理事長	プログラム委員会	出席率: 100 %		
4月20日	会長エレクト研修会報告)	次年度会長	前々週訂正: 100 %		

事 務 所 : 〒318-0033 高萩市本町 2-65
常陽銀行高萩支店内 TEL/FAX : 0293-24-0505

■URL : <https://www.takahagirc.jp>

■E-Mail : takahagi-rotaryclub@h7.dion.ne.jp

会 長 : 鈴木直登
幹 事 : 小森勇一

例 会 : 毎週水曜日 12:30~13:30

公共イメージ向上委員: 小森勇一 大河原浩 大高司郎
棚谷稔 田所和雄 石平光 今川隆 大平敏明 滝徳宗

四つのテスト

言行はこれに
照らしてから

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

世界かんがい施設遺産への認定・登録

用水開鑿以来、353年にわたって、保守管理されてきた、この用水を北茨城市が、2019年国際かんがい排水委員会（ICID）に申請し、歴史的にも貴重な灌漑施設として、認定、登録された。

北茨城市は、昭和の頃から、十石トンネルの上の尾根筋に親水公園をつくったが、下の写真のように本格的な公園を開設し管理、親水宣伝を強化している。



親水公園は、海拔85mほどの高地で、用水はここから、右上の略図にある下流の水田地区に流下している。

この公園から約2km、上流の瀧の沢水門まで管理用の道路であるが、水路に沿って素敵な散策ができる小道が続いている。



開設から353年め、柔らかい花崗岩質の水路で、砂が削られているが、しっかり管理されて、海拔約200mの瀧の沢から水路が整備されている。



上の写真の水門が、瀧の沢水門である。高萩市内、若栗地区の家老を源流とする「加露川」大北川に流れるが、途中の加露沢で分流させ、沢

伝いに掘割をつくり、瀧の沢まで導水し、この水



門で、水路に流し込むのである。

水田用水の特長として、1年中水が必要ではないので、余分な水は、右から沢に流している様子がわかる。



この用水は、山の尾根筋や、斜面を掘って水路を開鑿しているが、その努力が、歩いてみるとよくわかる。

左のように、現在はU字溝の水路となり、その上は、落ち葉が重なり快適な散策路となっているところもあるが、350余年を経て、村人のたえざる努力を目の当たりにするのである。

天水百姓から豊かな村へ



このような大きな開発事業は、天水百姓の村であった松井村のリーダーの地域振興への熱意によって成就した。上の水田は、水路橋の西側にあるが、用水がなければ水田にできなかったであろうと観察される。

地域の水を大切に

翻って、高萩市内を東流する高田用水は、この十石堀よりも、さらに古くからあり、高萩村、安良川村、島名村、秋山村の人々の暮らしを支えてきた。高萩安良川宿場の大切な水路であった。

下流に水田が減少し、市民の意識が薄らいでいるが、地域の中の「水と衛生」の豊かな存在を認識し、次の時代につなげたいものである。

会長あいさつ

鈴木直登 会長

ウクライナは最悪の事態となってしまいました。核兵器使用の報道まで聞こえてきます。皆さんの暖かいお心に感謝申し上げます。何ともならないのでしょうか。

今日は小森会員の「水」に関する卓話をお願い致しました。

3月21日からアフリカのセネガルで始まった「世界水フォーラム」の開会式にて天皇陛下はビデオメッセージを寄せられました。陛下は「水問題を巡る国や地域の境界を越えた相互理解が進み、社会がつながり、人々がお互いを認め合う平和な世界になって欲しい」と述べられました。又「新型コロナウイルスにより、私たちは水と衛生が健康の礎であることを実感した」と。

SDGsの一つである基本的な水と衛生への完全なアクセス達成に向けた取組の加速が必要だと述べています。

当市も昭和48年（1973年）3月に「海に見えるダム」として花貫ダムがデビューしました。このダムによって高萩市に水道用水が供給されました。当初は中々井戸から市水道に切替ができない状況が続いて市の職員が嘆いていたことが頭に残っています。「井戸だって安全なんだよ。ここでずーと先祖代々生きてきたんだから」という先輩もいらっしかったです。

これから何年後でしょうか。維持管理に大変な時期を迎えるのは、日立市の南部山側は供給する水の総量が減ってきているということも聞いています。

一方我が地域には小さな将に小川が流れていますがその川に小型の水力発電所を作りたいと東京の企業がいろいろ調査をしています。河川の管理は基本的に県が行っており市としてはどうこう言えないと聞いています。

陛下は「水と衛生、水と食糧・エネルギー分野の連携強化、水災害など様々な課題を解決するために、水分野を超えた各分野とも連携して、包括的、継続的、柔軟に取り組むなど私たちが、いかに貢献していけるかが問われている」と強調されました。



【幹事報告】

1 日立港RCの創立45周年記念式典が、来る

4月23日（土）15:00開催される。代表で参加の予定

2 第10回定例理事会を、3月23日（水）19:00

よりオンラインで開催いたしました。

決定については、4月当初に、「ロータリーの友」と一緒にお届けする議事録を見てください。



【メイクアップ】

3/16 東海那珂RC 卓話 大高司郎

3/20 地区チーム研修セミナー 大高司郎

3/23 日立北RC 江尻寛、大高司郎

【ニコニコBOX】

鈴木直登さん：春の大雪、陽があたればとけてくれる、いよいよ明秀登場だ。白白白で行こう！

小森勇一さん：1988年3月23日、「拉致は北朝鮮のしわざ」と梶山静六大臣が国会答弁、新聞記者らも考えていない、勇気ある発言でした。

大平敏明さん：お久しぶりです。

石君平さん：鈴木国男さん、滝徳宗さん

昨日の雪には驚きました。

小森さん卓話楽しみです。

本日計 6,000円

累計 322,200円

【ロータリー財団】

本日計 5,000円

累計 388,150円

【ポリオプラス】

本日計 0円

累計 51,730円

【米山記念奨学会】

本日計 0円

累計 298,000円